

今号のラインナップ：秋期ウリマル開講式 / 11・13全国活動者会議／活動者会議に参加して／活動報告  
／『歴史の意志を実践する』／2012年に向けて／情勢 NEWS／編集後記

## 秋期ウリマル開講式 各地で開催！！！！



秋です。秋といえば、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、そして・・・ウリマルの秋。

韓青全国ではこの間、恒例の秋期ウリマル開講式が各地で開催されました(三重県本部、京都府本部は11月2日、兵庫県本部、大阪府本部、愛知県本部、神奈川県本部は11月9日、東京本部は19日に開催)。

開講式に向け、全国で熱心に宣伝活動をおこない、それぞれ新しい仲間や、懐かしい仲間を迎え入れることができました。大阪府本部では最大の同胞密集地である生野区を中心に宣伝活動を展開。特にコアタウンの同胞が経営する店舗を一軒一軒まわり、ウリマル教室の大判のポスターを貼っていただいた結果、数多くの新規生を迎え入れることができました。

また、兵庫県本部、愛知県本部では、宣伝による新規生獲得はもちろんですが、これを機に最近支部から足が遠のいていた仲間に対しても積極的に声をかけていき、結果、開講式を契機に、久しぶりの盟員も大勢、支部を訪ねてくれました。

開講式当日は、各本部共通してウリマル教室のオリエンテーションを行いました。私たちの「韓国語」教室では、私たちの民族の言葉を学ぶ意味を込めて「ウリ(私たちの)マル(言葉)」教室と呼んでいること、お互いのことを民族名で呼び合っていること・・・そのすべてが、私たちが在日同胞青年として民族的に生きるためである、ということを、新規生にもわかりやすく伝え、共感を呼ぶことができました。

また、各地方本部ならではの特徴を紹介しますと、まず東京本部ですが、ここでは日々のウリマル学習の成果発表として、ウリマル劇を有志で発表。完成度の高い劇に会場から拍手が沸き起こりました。神奈川県本部では、交流会の際に「在日同胞中間試験」という民族にまつわるクイズ企画を行い、参加者の関心を集め、京都府本部では、先輩受講生が新規生への学習補助を行うなど、各本部で楽しみながらウリマルに触れる企画が行われました。

いよいよ2011年もあとわずか。2012年という重要な年を迎えるにあたって、今回の開講式は大きな成果を上げることができました。これからもウリ文化を大切に、同胞青年を大切に、楽しいウリマル教室を続けていきたいと思います。





# 全 大阪・生野で選挙広報活動も 国活動者会議を開催

在外選挙人登録の開始日であった11月13日、韓青全国の青年が大阪に結集して、「李明博・ハンナラ党政権審判！進歩的政権交代実現！韓統連全国活動者会議」に参加しました。2012年政治決戦の勝利に向けて、朝鮮半島情勢および韓国の選挙情勢についての認識を深め、今後の課題を共有する場になりました。全国の青年は一堂に会して団結を深めるとともに、在日同胞一番地・大阪で大々的な選挙広報活動も行い、来年の政治決戦勝利に向けて活動にまい進していくあらたな出発点としました。



抜けるような青空の下、全国から結集した韓青全国の青年たちは、日本最大の在日同胞密集地である大阪・生野コリアタウンで宣伝活動を行ないました。全国活動者会議に先がけて、生野のコリアタウン周辺の在日同胞宅へ在外選挙人登録の開始やソウル市長選後の国内情勢などを伝えていきました。はじめて「生野」に入った他地方の青年はその密集度合いに驚きながらも、どこを訪ねても同胞という地域での宣伝活動にやりがいと手ごたえを感じていました。あわせて冬期講習会の宣伝も行なったので、新たな青年との出会いにも今後期待したいです。

そして午後からは大阪PLP会館で、「李明博・ハンナラ党政権審判！進歩的政権交代実現！韓統連全国活動者会議」に参加し、韓統連、民主女性会、学生協とともに、朝鮮半島情勢および韓国の選挙情勢についての認識を深め、今後の課題を共有しました。また韓統連旅券裁判と憲法裁判所提訴の内容と政治的意義、今後の展望についても報告があり、真の名誉回復のための裁判闘争を展開することを確認しました。このなかでは、在外同胞選挙の選挙人登録・投票において、パスポートの有無を条件とする違憲状態改善を目的とした憲法裁判所への審判訴願についても学習しました。そして在外選挙人登録申請の開始日にさっそく選挙人登録申請に行った先輩の報告、各団体からの決意表明が行なわれました。韓青からは兵庫県本部委員長が決意表明を行い、多くの在日同胞が在外選挙に参加するように、宣伝広報活動の先頭に韓青が立つことを宣言しました。最後に進歩的政権交代実現のためにより実践的な活動を全国で展開していくことが提起、全体で確認されました。

活動者会議終了後は全体で団結の集いを持ち、各地域から政治決戦勝利に向けた取り組みの紹介、決意表明が行なわれました。またキムパプやチャプチェ、ご当地大阪のたこ焼きなどに舌鼓を打ちながら全体で交流も深め、在外選挙にむけて団結してそれぞれの地域で運動を展開することを約束しました。最後は全体で輪になり「ウリエ ソウォン（われらの願い）」を大合唱して、活動者会議は幕を閉じました。

## 韓青現役や OB・OG への領事館の不当な嫌がらせに断固抗議します！

現在、韓青OB・OGに対する領事館からの嫌がらせが多数おこなわれています。パスポート申請（更新）手続きをおこなう際、韓青との関係を絶つことを強要され、時には誓約書まで書かされています。

私たちは、このような時代錯誤的な非民主主義的な行為を断じて許すことはできません。

ここに、抗議の意志を明らかにします。

**2011年11月25日 韓青 OB・OG 有志一同**

## 活動者会議の感想は？

タイムライン @hanchung アクティビティ 検索メモ ▾ リスト ▾

新しいツイートが 3 件あります。



mie\_sji 運転手

全国の仲間と活動者会議。やっぱり私たち青年が先頭に立って選挙を盛り上げていく必要性を実感。ソウル市長選がそうだったように、2012 年も民衆の力、特に青年の力が勝利のカギだと思う。

5 分前

hanchung がリツイートしました。



tokyo08 カン

野党統合の動き、「革新と統合」の動向なども気になるけど、やっぱり進歩勢力が結集して進歩政党統合が成し遂げられるかがポイントだと思った。ワンショットできるかに注目していきたい。

8 分前



ran.com ホン

今日の内容は濃かったけど、とても分りやすかった。気合入ったし、自分の地域でもどんどん実践をしていこうと思っています！

24 分前



LJJN\_osaka リー

ついに選挙人登録が開始した。多くの同胞青年に参加して欲しいし、レク企画として領事館にみんなで選挙人登録しに行こう！地域のハラボチやハルモニと一緒に連れて行くななんてのもいいよなあ。

1 時間前

hanchung がリツイートしました。



aiaichii どらどら

はじめて生野に行ったけど、本当にたくさん在日同胞がいてビックリした！訪ねた家も、隣りの家も、そのまた隣りの家も…。みんな選挙に行ったら、かなり影響力ありそう。

3 時間前

hanchung がリツイートしました。



moon777 ミスター T

在外選挙で韓国、そして在日同胞社会が変わる！いまこそ私たちが ... !

4 時間前



love\_osaka たるちゅむ

韓青全国の団結した力で、2012 年勝利！ SF2012 大成功だ！

5 時間前

気になる情報はここから！

**ハンチョン情勢ニュース**

ハンチョンの機関誌 **【NEW】한청통신**  
韓 青 通 信

韓国の国政選挙に参加しよう！  
**ウリ選挙 在日参与センター**

**【NEW】** 京都市南区で広報戸別訪問を行いました！

ツイート 2,491

20 時間前：6・15 宣言…

フォローしている 615



フォローされている 815



トレンド：韓青 変更

在外選挙人登録

進歩統合

韓米 FTA

キム・ジンスク

駐韓米軍兵士犯罪

秋期開講式

SF2012

# 活動紹介



## 在日韓国青年同盟兵庫県本部第14期定期大会開催！！



11月6日、兵庫県内において、韓青兵庫県本部第14期定期大会が開催されました。この大会には多くの先輩方や全国の韓青の同志、そして連帯する日本人のみなさんからあいさつをいただくなど、あたたかい雰囲気のなかで進められていきました。

はじめに、李俊一前委員長が委員長あいさつで、4年間の活動をふりかえりながら、「常任同士が固く団結してきたことによって、多くの成果を勝ち取ることができた。また今日選出される新委員長を中心に、さらに兵庫県本部を発展させていってほしい」と述べました。

議案審議では活動総括を採択した後、①「一日も早い祖国統一を成し遂げるために」②「執行部の量を拡大し、主体的に活動するために」③「幹部・盟員・受講生拡大のために」ーなど4項目の活動方針を採択しました。

その後、新執行部選出に入り、新委員長に権理恵氏が、副委員長には梁京玉氏が選出されました。権理恵新委員長は就任あいさつで「韓青兵庫のなかで先輩方から受けた溢れるほどのこの愛情を、今度は私たちが地域同胞青年に注ぐ番である。地域の青年とともに歩む組織、そして“兵庫に韓青あり”と言われるような民族組織として、その地位を確立していく」と力強く語りました。

## 第18回統一マダン東京開催！！



「朝鮮半島の統一、民族の和解、平和なアジア、差別のない社会へ」をスローガンに10月30日、第18回統一マダン東京が都内荒川区の旧真土小学校で開かれました。会場には多くの地域同胞や日本の市民らが集まり、司会の開会宣言とともに、韓青・学生協のメンバーらが民族楽器を演奏しながら入場すると、会場はまたたくまにヒートアップしていきました。

舞台では、東京朝鮮第一初中級学校の生徒らによる民族舞踊が披露されたほか、日本国際テコンドー協会荒川道場のテコンドー演武、ノレの会の韓国民衆歌謡に加え、韓青によるサムルノリや韓日の青年アンサンブル、そして民主女性会と日本の女性らによる「南北・在日同胞女性と日本人女性の平和のためのアピール」を連帯して作り上げ深い感銘を与えました。

さらにメインゲスト、朴保バンドのコンサートでは観客らも合唱に参加し、統一の素晴らしさ、平和への誓いを心の底からともにし、熱気は最高潮に達しました。最後は朴保バンドと韓青が楽器を打ち鳴らして会場に集まった人たちと群舞を踊って閉幕していきました。

# 歴史の意志を実践する！

連続企画「歴史の意志を実践する！」。このコーナーでは、裴東湖記念研究所より発刊されている『歴史の意志を實踐する－唯物弁証法と民族主義で読む「愛国論」の世界』の学習を通じて、韓青盟員が理論学習を積み、日々の実践に還元していくために、そして民族的に生きる力としていくために、学習のフィードバックレポートを掲載していきます。今回は第4回目として、学習会に参加した感想・決意を全国の同志にむけて、東京本部葛飾支部委員長のコ・チルリ氏が述べてくれました。

コ・チルリ

私は、韓青活動の中で最高の本に出会いました。それは皆さんも知っている通り、「歴史の意思を實踐する」という本です。今では、活動するうえでなくてはならない存在になっています。なぜならば、活動する上で重要な事、人間の本質について書かれてあったからです。また、所長の情熱と民族に対する熱い愛情がしみじみと伝わり、活動家として民族の運命と自分の人生を結びつけ、人間がより人間らしく豊かに生きるために日々自分の人生をかけて活動してきた事に私自身感動しました。

本書を学習するにあたり、感銘を受けた一節がいくつもありました。例えば「民族的に生きる」とは、正しい民族意識をもって自主・民主・統一運動に参加する過程で、「差別に負けない存在」から「民族自主のために闘う」存在になるために自分自身を変えていかななくてはならないことだという指摘や、「在日同胞の存在は新たな時代を切りひらいていく希望なのです」という一節に心打たれました。韓青運動というのは、社会変革運動であり、つねに変化・発展しています。そして私たちは自主・民主・統一運動の主体者であり、私たちは祖国の柱でもあります。その柱である私たちこそが、希望の灯台となり日々の韓青活動にまい進していかなければならないと思いました。そして「在日同胞の運命は、祖国と日本社会に深く結びついている」という一節にも考えさせられました。この一節の意味を深めることで、在日同胞の解放は祖国が統一されない限りなし得ないこと、そのためには根本矛盾を打破しなければならないことを深く認識することができました。

しかし祖国の現状に目を移すと、李明博政権の対北敵視政策と米国の覇権政策によって緊張が高まっています。私たちは自主的統一祖国を創るために、このような李明博政権を厳しく審判し、駐韓米軍の撤退を勝ち取らなければなりません。そうした中、来年の2012年には韓国大統領選挙を迎えます。この大選で進歩的政権交代を実現してこそ、統一の里程標である6・15共同宣言、実践綱領である10・4宣言に基づく理想の自主的統一祖国の実現に近づくものと確信しています。私たちは団結した力で進歩的政権交代を実現し、祖国の自主的平和統一のためにも根本矛盾と主要矛盾の解決に熱誠的に取り組まなければなりません。

自主民主統一は在日同胞にとって切り離すことのできない課題であって、在日同胞が人間らしく生きていくために必要不可欠なものです。だからこそ私はこの運動を担い自分自身を自己変革させ成長しつづけられるように、韓青の社会変革運動に参加する過程で民族的に生きることを肌で感じ、考え続けたいと思います。



韓国語教室

「ムグンファ」

見学・体験レッスン随時受付！

担当：金梨恵(キム・イヘ)

080-6510-1973

韓国語教材専門インターネット書店

ハングルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

～2012年 政治決戦に向けて～

# そうだったんだ！ 国政選挙

## Vol.4 プレイバック国政選挙②

### 《第7代大統領選挙（1971年4月27日）》

～金大中候補が大善戦！強まる独裁 - 維新体制へ～

#### ● 5・16軍事クーデター

1961年5月16日の早朝、朴正熙（パク・チョンヒ）少将率いる青年将校らがソウルの朝の静寂を破り、軍靴と銃剣でソウルの街を占領しました。この「5・16軍事クーデター」によって、4月革命による「ソウルの春」は無残にも踏みにじられました。こうして実権を握った朴正熙が大統領に就任、軍事独裁体制が築かれました。

朴正熙政権は大規模な検挙などで進歩勢力を崩壊させるとともに、政権の「正統性」を確保するために経済再建に取り組みます。その財源を調達するために植民地支配の清算をうやむやにする韓日条約



▲クーデターを起こした朴正熙少将（中）

（65年）、アメリカが求めていたベトナム派兵（65年）までも強行してしまいます。こうした政策により工業生産力は上がったものの、都市部の貧困層は経済開発の犠牲になり、とりわけ輸出産業を支えていた繊維などの軽工業の現場は劣悪な労働条件におかれていました。そして1970年11月13日、「われわれは機械ではない！」と叫びながらソウル・平和市場で働く全泰壹（チョン・テイル）青年が焼身抗議を遂げると、民衆の怒りは頂点に達するのです。

#### ● 「最後」の大統領選挙～維新独裁へ

こうした不満が渦まく中、1971年4月27日、第7代大統領選挙が行われました。この選挙で「40代旗手論」を掲げて立候補したのが金大中（キム・デジュン）候補でした。金大中候補は大胆な南北平和統一案を提起するなど大旋風を巻き起こします。しかし、朴正熙大統領は不正と金権にまみれた選挙戦によって、かろうじて大統領3選を果たします。この大選で金大中候補は46%（朴候補は54%、約94万票差）を獲得し、不正がなければ当選していたと言われています。



▲チャンチュン公園で演説する金大中候補

これに脅威を抱いた朴正熙大統領は、独裁体制を固めることと政敵である金大中氏の抹殺を図ります。72年10月17日、朴正熙大統領は非常戒厳令を宣布し、権力を大統領に集中させる「維新憲法」を公布します。これにより大統領選挙は廃止され、復活までは87年の6月民主抗争を待たなければなりません。そして73年8月8日、韓国民主回復統一促進国民会議日本本部（韓民統）結成式直前に、金大中氏が東京から白昼堂々致されるという世紀の大事件が発生するのでした。



# 情勢NEWS

## ＜市民が権力に勝ち、 投票が古い時代に勝った！＞

10月26日、来年の政治決戦（4月の総選挙、12月の大統領選挙）の前哨戦と位置づけられてきたソウル市長選を含む全国の再補欠選挙が行なわれました。

その結果、ソウル市長選挙では、与党であるハンナラ党から出馬した羅卿瑗候補を破り、野党圏統一候補・朴元淳候補が当選しました。

朴元淳・新ソウル市長は、「参与連帯」の創設に関与して、執行委員などを務めるなど、精力的に市民運動を牽引してきた人物です。特に、2000年に行われた総選挙において落選運動を主導したことで知られています。また、韓統連が数十年ぶりに韓国を訪問した「海外民主人士故国訪問事業」（03年）の招請委員会の委員にも名を連ねています。

この選挙の結果は、私たちに多くの希望と今後の重要課題を提示してくれました。

第一に、選挙に勝ったという事実です。

まずは、国民が李明博政権・ハンナラ党政権に対して「政権審判」をしたこと。そして、来年の政治決戦に向けて最大の票田であり、最大に注目される首都ソウルで「解放空間」を獲得することができたのです。ソウル市庁前広場でのキャンドルデモが、また大きなムーブメントとして再加熱する条件を整えたのです。実際、今では韓米FTAに反対するキャンドルデモが、連日のように行なわれているようです。

次に、高い投票率が勝利を呼んだという点です。

今回のソウル市長選挙は、総選挙や大統領選挙などとは違い、投票日が休日にならない条件下でおこなわれ、48.6%という、補欠選挙では史上最高の投票率を記録しました。しかも、同時におこなわれた全国の再補欠選挙と比べてもソウル市長選の投票率の高さは群を抜いています。この投票率を高め



▲朴元淳・新ソウル市長

た一番の要因は、多くのメディアでも報じられているとおり、若者たちの投票でした。韓国の市民運動が、投票というより具体的で直接的な行動によって、その威力を見せ付けたのです。まさに朴新市長が言う「市民が権力に勝ち、投票が古い時代に勝った」ということです。

最後に、ハンナラ党や民主党といった既存政党の限界性が明らかになったということです。

ハンナラ党は目に見える形で国民から「ノー」を突きつけられましたが、民主党もまた、国民からの期待に応えられていないことが明白になりました。

野党圏統一候補を選ぶ予備選では、自前の候補が朴元淳候補に負けました。選挙協力はしたものの、純粋な民主党の勝利とは誰も見ていません。そういった中で、政党支持率がわずか3.8%でしかない民主労働党が全国平均で約25%の得票率を獲得したのは、きわめて高く評価しなければなりません。つまり、無党派層40%の層の半数が、具体的な投票行動では民主労働党を、その受け皿として選択したのです。特定の政党に属さない「国民の声」の半数近くを民主労働党が集約したのです。

来年の政治決戦を前に、ハンナラ党は窮地に追い込まれ、民主党は自力では勝てないことが判明しました。そのような中、市民運動の活躍と、民主労働党の「躍進」は、今後の政治動向に重要なファクターとなることでしょう。

## PICK UP! ◎ 各地域(本部)で年末・年始事業を開催します。

各地域・本部支部にて、年末にはクリパ・送年会を、年明けには新年会・成人祝賀会を企画しております。日程はホームページで随時ご案内します。または、各本部にメールなどで直接お問い合わせください。

◎成人式では成人者のみなさまのご参加をお待ちしています。



## ◎スノーフェスティバル 2012 の日程が決定!!!

韓青のビックイベント／『第48回韓青全国冬期講習会』- スノーフェスティバル2012を開催します!

各地から同胞の仲間たちが集まり、スキー・スノーボードはもちろん、ゲーム大会や班別ディスカッション、韓青文化マダンなど楽しいイベントが盛り沢山!!!

同世代の仲間たちと「韓国人である自分」を見つめ、語り合える韓青のスノーフェスティバルに、是非ご参加ください。

◎次回号に特集「スノーフェスティバル2012」を掲載します。

日 程 : 3月2日(金)～3月4日(日)

※出発は3/1(木)の深夜

場 所 : 長野県 志賀高原 志賀ハイランドホテル

参加費 : 一般28,000円 高校生23,000円

(交通費・食費・イベント代込み)



お問い合わせ

0120-734-101まで

編・集・後・記



はやいもので今年も残りわずかとなりました。ふりかえれば、今年は2012年政治決戦に向けての選挙広報活動を大々的に展開し、多くの成果を勝ち取った1年でした。そして、来年はさらに運動を発展させ、さまざまな情報を発信していきたいと思います。

今年も韓青通信のご愛読、ありがとうございました。来年もよろしくお願いします(徐)